

# 【コースのご案内】

小田急・新松田駅(9.00)集合・[新老人の会・旗目印]

出発・3番バス停[寄(ヤドリキ)行き](9.05) -  
- (9.30) 寄バス停 (9.30) - - (10.30) 水場 - - (11.30) シダンゴ山(昼食)  
(12.00) - - (13.30) 宮地山 - -  
(15.00) 登山口・寄バス停 (15.35)  
- - 新松田駅・解散 バス片道：¥510.

# シダンゴ山



【コースの概略】  
新松田駅を出ると向かい側に3番バス停が有り、寄(ヤドリキ)行きに乗り、終点で降ります。休養村管理センター前の橋を渡り、大寺の集落に入ると、ほどなく左手の石垣の上にシダンゴ山への道標が有り、民家の間を抜けて坂道を登ると茶畑で、その上にベンチやトイレのある「ふれあい農園大寺休憩所」が有り、此処から急な農道を登

ると、イノシシ除けの防護策が有りこれを潜つて更に進むと緩やかな杉林の道になり水場に到着、この辺から檜林に変わり、その先、雑木林を抜けるとカヤトの頂上に出ます。帰りは、反対側秦野峠方面に下り、分岐から左の道に入り林の中の稜線を、宮地山に向かいます、此処も山頂は草地でノビルが一面に生えて、イノシシの足跡が見られます、大寺方面の道標に従い寄のバス停まで降ります。

【シダンゴ山・寄】  
シダンゴ山とは聞き慣れない変な名前ですが、「新編相模国風土記稿」に寄ると、「震旦郷」の記載が有り、震旦はサンスクリット語で中国の事で、その中国音訳、この山奥の隠れ里がそのイメージに合つて名付けたのかも知れません。  
寄は丹沢の北側に有る道志村とは密接な関係に有つて、相模湾側に出るのに、平野や谷筋を通るよりは、安全な尾根を伝い峠を越えるルートを取つていて、犬越路や城ヶ尾峠、白石峠を越えて中川や玄倉に入り、秦野峠を越えて海側へ、当時の寄は交通の要衝に有つた様です。  
また、近年は比較的温暖で静かな環境から、レクリエーションエリアとして、「寄自然休養村」が開かれ、ます釣り場、栗園、いも堀園、みかん園、自然遊歩コースなどが整理されて、食堂併設の管理センターが有ります、シダンゴ山や宮地山の登山道もこの休養村の散策コースとして整備されたものです。(山溪「神奈川県の山」より)

【地名・寄】  
地名「寄」の集落名は昔も今もヤドリキですが、近年、バス停や民宿名でヤドリキとなつて居る所も有ります。

【寄発バス時刻表】

14.35, 15.35,  
16.20, 17.10





昭文社版・山と高原地図「丹沢」複写見本です正確なものは書店でお買い求め下さい